

No.182

令和7年
11月1日発行

民

協

埼玉県

児

だより



画像提供：金鳳山平林寺

目次

- 【開催報告】令和7年度 2p~7p
埼玉県民生委員・児童委員大会
- 第94回全国民生委員児童委員大会(北海道大会) 8p~9p
- 令和7年度全国児童委員・主任児童委員 10p~11p
活動研修会
- ご存知ですか？ 社会福祉協議会(社協) 第2弾 ... 12p~13p
- 共同募金の使いみち!! 14p~15p
- ぜひお越しくだ埼玉！(新座市 平林寺の紅葉)、... 16p
今後の予定、編集後記



県民児協
ホームページも
ご活用ください！



<http://www.saitama-minjikyo.or.jp>



埼玉県民児協だよりでは、
「民生委員・児童委員協議会」
を「民児協」と表記しています。



この広報紙は、共同募金の配分金により発行されています。

令和7年度
(第51回)

埼玉県

民生委員・児童委員大会

主催者挨拶

埼玉県民生委員・児童委員協議会

会長 寺田 治子



本日は、第51回埼玉県民生委員・児童委員大会にご参集いただき、心より感謝申し上げます。受賞者の皆さまに心からお祝いを申し上げるとともに、長年にわたるご尽力に深く敬意を表します。

去る7月には、熊谷市において第85回関東ブロック研究協議会が盛大に開催され、4つの分科会で熱心な協議が行われました。本大会においても「One for all, all for one」の理念を胸に、誰もが安心して暮らせる地域共生社会の実現に向け、持続可能な活動への思いを新たにしたいと存じます。

近年、少子高齢化の進行に伴い生活課題は複雑化しており、民生委員・児童委員に寄せられる期待も一層高まっています。皆さまと力を合わせ、地域に根差した活動を進めてまいります。

主催者挨拶

埼玉県知事 大野 元裕



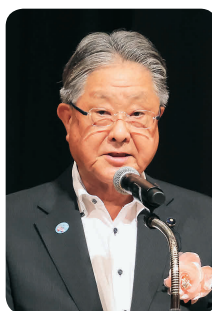
(代理：副知事 山崎 達也)

皆さまには、日頃、高齢者の見守りをはじめ、子育てや介護の悩みを抱えている方、生活にお困りの方への支援など、それぞれの地域において、福祉の推進のため、多大なる御尽力をいただいておりますことに、厚くお礼申し上げます。

本県出身の偉人で、実業家として知られる渋沢栄一翁は、社会福祉事業にも熱心に取り組み、現在の「全国民生委員児童委員連合会」の前身となる組織の初代会長も務めました。私は、皆さまとともに渋沢翁の精神を受け継ぎ、あらゆる人に居場所があり、活躍でき、安心して暮らせる「日本一暮らしやすい埼玉」を実現したいと考えています。今後ともお力添えをいただきますようお願いいたします。

来賓祝辞

埼玉県議会副議長 飯塚 俊彦



それぞれの地域で孤立しがちな世帯に対し、一番身近な相談相手として、本当に重要な役割を果たしてこられたことと存じます。

これまでの御苦労に深く敬意を表しますとともに、心からお祝い申し上げます。どうかこれからも、県民誰もが住み慣れた地域で自分らしく暮らせる社会の実現に向けて、御尽力を賜りますよう、お願い申し上げます。

県議会といたしましても、誰一人取り残さず、共に生きていく共生社会の実現に全力で取り組んでいきます。

来賓紹介

(敬称略)

埼玉県議会副議長

飯塚 俊彦

埼玉県議会福祉保健医療委員会委員長

関根 信明

埼玉県社会福祉審議会委員長

菊池 いづみ

埼玉県保護司会連合会副会長

大島 通人

東京都民生児童委員連合会副会長

小林 隆猛

さいたま市民生委員児童委員協議会副会長

野口 良輝

産経新聞社さいたま総局総局長

那須 慎一

日本放送協会埼玉放送局局長

福島 正広

株式会社エフエムナックファイブ取締役渉外部長

末柄 勝朗

日本赤十字社埼玉県支部事務局長

細野 正



大会宣言

私たちの暮らす社会は、不安定な世界情勢や物価高騰、一層深刻化する少子高齢化・人口減少、そして人間関係の希薄化などを背景に大きく変化しています。これに伴い、多様化・深刻化する地域課題への対応はますます重要なものになっております。このような状況下で、民生委員・児童委員が担う役割への期待はより高まっています。

私たちは新たな活動の広がりや質の向上を目指し、様々な地域の課題に対応しながら委員活動の充実を図ります。そして、誰もが安心して住み慣れた場所で生き生きと暮らせる地域づくりに、引き続き取り組んでまいります。

そのために、時代や地域社会の変化に合わせた活動方法を検討し、やりがいをもって長く活動が続けられるよう研鑽を積み、ひいては地域福祉の発展に寄与してまいります。

この決意を込め、本日、第51回埼玉県民生委員・児童委員大会の開催にあたり、次のとおり宣言します。

1 民生委員・児童委員、主任児童委員に対し、活動に必要な研修の実施や研修教材の作成など、委員活動の充実に向けた取り組みを強化します。

1 委員活動が円滑に行えるよう、県内各市町村民生委員・児童委員協議会の組織の現況を把握した上で、ICTの活用をはじめとする委員活動における負担軽減及び活動環境の改善に取り組めます。

1 委員活動の一助となるよう、全ての委員に適切な情報提供を行うとともに、関係機関との連携により民生委員・児童委員制度の広報活動を積極的に行います。

1 こども一人ひとりが希望をもって成長できる社会を目指し、地域ぐるみのこども・子育て支援の質を高めるための取り組みを継続し、活動の充実・強化に努めます。

令和7年9月12日

第51回埼玉県民生委員・児童委員大会

■ 次 第

<日時・場所> 令和7年9月12日(金)「埼玉会館」大ホール

1 開 幕

2 開会のことば

国歌斉唱
物故者慰霊黙祷
民生委員・児童委員信条朗読

3 主催者挨拶

埼玉県知事
埼玉県民生委員・児童委員協議会会長

4 功労章及び章記授与

民生委員及び児童委員知事功労章授与

5 表彰及び感謝状贈呈

優良民生委員・児童委員協議会表彰
永年勤続単位民生委員・児童委員協議会会長表彰
30年功労者感謝状贈呈

13:00

6 来賓祝辞

埼玉県議会副議長

7 来賓紹介

8 受賞者代表謝辞

9 講 演

テーマ 「デジタルと仲良くしよう！」

講 師 ITエバンジェリスト 若宮 正子 氏

10 宣言採択

11 斉 唱

民生委員の歌（花咲く郷土）

12 閉会のことば

15:30

民生委員および児童委員
県知事功労章受章者名簿

38	37	36	35	34	33	32	31	30	29	28	27	26	25	24	23	22	21	20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
川口市	川口市	川口市	川口市	川口市	川口市	川口市	川口市	川口市	川口市	川口市	川口市	川口市	川口市	川口市	川口市	川口市	川口市	川口市	川口市	川口市	川口市	川口市	川口市	川口市	川口市	川口市	川口市	川口市	川口市	川口市	越谷市	越谷市	越谷市	越谷市	越谷市	越谷市	越谷市
澤田	高橋	山野	子安	土佐	畑中	富田	田端	内田	大泉	藤本	堀	榑	福田	安東	山田	渡部	須賀	小林	遠山	宇山	伊藤	星野	鶴見	矢島	高栖	市川	平本	急式	小川	田島	山島	秋山	横幕	堤	和泉	関	會澤
真理	真理子	栄三郎	章子	孝子	智栄美	幸江	律子	幸子	正子	久枝	由美子	まさみ	稔	雪江	洋子	久子	美佐恵	友子	はつ子	のり子	恵美子	幸子	由利子	祥子	敦子	操子	和子	悦子	道子	晶子	利恵子	幸恵	敏恵	敬子	満智江	洋子	まち子

80	79	78	77	76	75	74	73	72	71	70	69	68	67	66	65	64	63	62	61	60	59	58	57	56	55	54	53	52	51	50	49	48	47	46	45	44	43	42	41	40	39		
東松山市	加須市	加須市	飯能市	飯能市	飯能市	飯能市	所沢市	所沢市	所沢市	所沢市	所沢市	所沢市	所沢市	所沢市	所沢市	所沢市	所沢市	所沢市	所沢市	秩父市	秩父市	行田市	行田市	熊谷市	熊谷市	熊谷市	熊谷市	熊谷市	熊谷市	熊谷市	熊谷市	熊谷市	熊谷市	熊谷市	熊谷市	熊谷市	熊谷市	熊谷市	熊谷市	熊谷市	熊谷市	熊谷市	熊谷市
高野	水野	鈴木	浅見	町田	橋村	新井	杉保	伊藤	鈴木	高田	丸山	柳瀬	山寄	竹之内	村田	松井	助川	平山	武藤	平塚	佐々木	小林	丹羽	和泉	根岸	岩崎	村岡	森田	廣瀬	西田	中條	松原	松本	藤井	高橋	入倉	柴崎	松村	金澤	宮地	初江		
昌枝	薫	秋子	正	久江	章子	勝	サヨ	栄子	由美子	美智子	靖子	圭子	綾子	好江	純子	純子	君江	良子	由美子	文世	準一郎	初代	みち子	君枝	弘	充子	洋子	志津子	早苗	美紀	真弓	久美子	明子	孝枝	いく子	きみ子	由美	初江					

122	121	120	119	118	117	116	115	114	113	112	111	110	109	108	107	106	105	104	103	102	101	100	99	98	97	96	95	94	93	92	91	90	89	88	87	86	85	84	83	82	81																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
草加市	草加市	上尾市	上尾市	上尾市	上尾市	上尾市	深谷市	鴻巣市	鴻巣市	鴻巣市	鴻巣市	鴻巣市	鴻巣市	鴻巣市	羽生市	羽生市	狭山市	狭山市	狭山市	狭山市	狭山市	狭山市	狭山市	狭山市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市	春日部市

164	163	162	161	160	159	158	157	156	155	154	153	152	151	150	149	148	147	146	145	144	143	142	141	140	139	138	137	136	135	134	133	132	131	130	129	128	127	126	125	124	123		
朝霞市	朝霞市	朝霞市	朝霞市	朝霞市	朝霞市	朝霞市	入間市	入間市	入間市	入間市	入間市	入間市	入間市	入間市	入間市	戸田市	戸田市	戸田市	戸田市	戸田市	戸田市	戸田市	戸田市	戸田市	戸田市	戸田市	戸田市	戸田市	戸田市	戸田市	戸田市	戸田市	戸田市	戸田市	戸田市	戸田市	戸田市	戸田市	戸田市	戸田市	戸田市	戸田市	戸田市
藤本	佐々木	陶山	熊倉	赤羽	野本	池田	戸谷	大月	小島	水村	生田	西崎	石川	山代	田中	西村	長谷川	小山	小山	富田	富澤	金子	前田	池上	秋元	小倉	岩永	田中	程塚	櫻澤	宇佐美	勝又	田中	船戸	山内	狩野	梅村	古庄	鈴木	高橋	洋子		
米子	一夫	恵子	時江	睦美	文子	礼子	明代	秀子	悦子	由美子	由紀子	智	和子	かね子	晴江	健二	麗子	勝彦	一美	みつ子	和幸	耕治	みよ子	早苗	知子	勝一	正夫	利治	きみ	一章	幸江	幸子	和子	和彦	加代子	綾子	和子	佐知子	徳子	洋子			

210	209	208	207	206	205	204	203	202	201	200	199	198	197	196	195	194	193	192	191	190	189	188	187	186	185	184	183	182	181	180	179	178	177	176	175	174	173	172	171	170	169	168	167	166	165
八潮市	八潮市	八潮市	北本市	北本市	北本市	北本市	北本市	久喜市	久喜市	久喜市	久喜市	久喜市	久喜市	桶川市	桶川市	新座市	新座市	新座市	新座市	新座市	新座市	新座市	新座市	新座市	新座市	新座市	新座市	新座市	新座市	新座市	新座市	新座市	新座市	新座市	新座市	和光市	和光市	和光市	和光市	和光市	志木市	志木市	志木市	志木市	志木市
小倉	長岡	大野	小澤	有田	柏原	黒田	赤沼	森田	玉置	秋元	元木	田巻	岩間	高塚	東條	萩野	原こず恵	葛西	中國	山崎	浜田	森田	堅尾	神谷	内田	八田	金井	岩田	長谷川	西方	有澤	鳥之海	有働	宮原	浦田	柳下	田中	並木	八木沢	森優子	小田野	尾崎	田中	高野	林
きよ子	ナミ	清枝	理絵	めぐみ	早苗	真理子	幹江	知枝	政美	靖子	靖子	妙子	直美	一子	律子	三枝子	美智子	美智子	由紀子	憲子	美智子	友子	順子	公洋	八重子	一美	信子	祐子	栄	美子	サチ子	静子	久美	幸恵	澄江	壽美子	照一	直子	優子	恵子	浩代	富士子	要子	資子	

256	上里町	木村 達夫
255	東秩父村	高野 ゆり
254	皆野町	宮前 浩之
253	皆野町	関和 明子
252	横瀬町	平沼 進
251	小川町	山本 伊勢子
250	三芳町	窪田 榮夫
249	伊奈町	田口 美智子
248	伊奈町	近藤 春江
247	伊奈町	加藤 衛
246	白岡市	黒須 さかえ
245	白岡市	黒須 さかえ
244	ふじみ野市	鈴木 幸子
243	ふじみ野市	下川 眞由美
242	ふじみ野市	新井 一夫
241	吉川市	井上 真佐枝
240	吉川市	佐竹 美保子
239	吉川市	川瀬 幾子
238	吉川市	光 素子
237	吉川市	赤尾 邦彦
236	吉川市	松澤 鈴子
235	吉川市	田中 公明
234	日高市	上野 良子
233	鶴ヶ島市	實剣 綾子
232	坂戸市	佐藤 和恵
231	蓮田市	岩崎 仁美
230	蓮田市	小野寺 しづ子
229	蓮田市	長嶋 恵子
228	蓮田市	東 眞弓
227	蓮田市	中山 興子
226	三郷市	土岐 典子
225	三郷市	岡野 紀路子
224	三郷市	和井田 美佐子
223	三郷市	松島 羊子
222	三郷市	篠田 富美代
221	三郷市	中村 清一
220	富士見市	川上 千恵子
219	富士見市	塚越 ちよ子
218	富士見市	松島 幸子
217	八潮市	田中 郁代
216	八潮市	大隅 則子
215	八潮市	矢野 由美子
214	八潮市	栗原 喜美子
213	八潮市	山本 孝子
212	八潮市	荻野 恭子
211	八潮市	坂 喜美子

優良民生委員・児童委員協議会表彰 受賞地区名簿

257	宮代町	加藤 明美
258	杉戸町	松村 美知子
259	杉戸町	鈴木 恵子
260	杉戸町	高橋 恵子
261	松伏町	圓井 明美
262	松伏町	鈴木 光子
263	松伏町	田中 れい子

263名

加須市	水深地区民生委員・児童委員協議会
春日部市	庄和南地区民生委員・児童委員協議会
草加市	新田西部地区民生委員・児童委員協議会
三郷市	みさと団地地区民生委員・児童委員協議会
川越市	第4地区民生委員・児童委員協議会
所沢市	小手指第二地区民生委員・児童委員協議会
飯能市	東吾野地区民生委員・児童委員協議会
狭山市	入曽地区民生委員・児童委員協議会
鶴ヶ島市	第三地区民生委員・児童委員協議会
川口市	戸塚地区民生委員・児童委員協議会
朝霞市	南部地区民生委員・児童委員協議会
桶川市	西第1地区民生委員・児童委員協議会
北本市	東地域地区民生委員・児童委員協議会
秩父市	吉田地区民生委員・児童委員協議会
本庄市	旭地区民生委員・児童委員協議会

以上15地区

永年勤続単位民生委員・児童委員協議会会長表彰 受賞者名簿

川越市	第1地区民生委員・児童委員協議会	会長 金子 眞弓
川越市	第4地区民生委員・児童委員協議会	会長 水村 富美子
川越市	第10地区民生委員・児童委員協議会	会長 川原 英子
川越市	霞ヶ関北地区民生委員・児童委員協議会	会長 中島 眞利子
川越市	川鶴地区民生委員・児童委員協議会	会長 市川 富美子
熊谷市	第10地区民生委員・児童委員協議会	会長 関根 聖
川口市	上青木地区民生委員・児童委員協議会	会長 高橋 登美雄
川口市	新郷地区民生委員・児童委員協議会	会長 寺本 正和
川口市	鳩ヶ谷第2地区民生委員・児童委員協議会	会長 吉田 好子
秩父市	第一地区民生委員・児童委員協議会	会長 濱中 啓一
所沢市	松井東地区民生委員・児童委員協議会	会長 赤坂 悦
所沢市	新所沢東地区民生委員・児童委員協議会	会長 松宮 昌美
所沢市	吾妻地区民生委員・児童委員協議会	会長 高田 美智子
飯能市	美杉台地区民生委員・児童委員協議会	会長 井上 久美子
飯能市	原市場地区民生委員・児童委員協議会	会長 町田 和子
飯能市	名栗地区民生委員・児童委員協議会	会長 町田 久江
本庄市	第2地区民生委員・児童委員協議会	会長 齋藤 京子
本庄市	児玉第1地区民生委員・児童委員協議会	会長 大山 美佐保
春日部市	幸松地区民生委員・児童委員協議会	会長 宮本 喜美子
春日部市	豊春東地区民生委員・児童委員協議会	会長 大藤 やすえ
春日部市	庄和南地区民生委員・児童委員協議会	会長 村上 裕子

30年功労者感謝状贈呈 受賞者名簿

1	川越市	金子 眞弓	30年
2	川越市	田中 幸子	35年
3	川越市	田中 敏枝	30年
4	川越市	谷口 千恵子	30年
5	熊谷市	寺田 治子	35年
6	川口市	厚川 葉子	35年
7	川口市	鈴木 陽子	30年
8	川口市	吉田 好子	30年
9	所沢市	木持 弘年	42年
10	飯能市	岡田 鈴江	29年
11	本庄市	齋藤 京子	38年
12	春日部市	木村 慶一	30年
13	狭山市	小野 澄子	32年
14	狭山市	藤野 美佐子	32年
15	上尾市	大場 玲子	30年
16	草加市	清田 幸子	32年
17	越谷市	式場 翼男	35年
18	越谷市	新美 由美子	32年
19	越谷市	高橋 康子	32年
20	越谷市	中山 和子	32年
21	戸田市	前原 芳子	41年
22	戸田市	磯部 京子	31年
23	戸田市	磯部 恒子	35年
24	戸田市	片倉 卓	35年
25	入間市	木下 登	32年
26	朝霞市	大熊 君枝	32年
27	朝霞市	土佐 隆子	32年
28	朝霞市	橋本 芳博	32年
29	朝霞市	要害 映子	30年
30	新座市	永井 美知子	35年
31	新座市	細沼 和夫	32年
32	桶川市	齋藤 君江	32年
33	八潮市	篠木 猛	35年
34	三郷市	宮田 希代子	38年
35	蓮田市	長谷部 ゑみ子	32年
36	幸手市	細川 壽江	44年
37	日高市	行成 美知代	33年
38	毛呂山町	森澤 美智子	35年

以上38名



「デジタル社会になると地域福祉はどう変わっていくか」講師・若宮正子氏

90歳を超えてなお、国内外でデジタル活用的重要性を説き続ける若宮正子氏。本講演では、ご自身の介護経験や海外の先進事例を交えながら、デジタルが高齢者の生活や地域福祉にもたらす可能性について、力強いメッセージが送られました。

高齢者の一番の敵は「孤独」。 インターネットが繋ぐ新しいコミュニティ

若宮氏は、自身の母親の介護経験から話を始めました。一番の問題は体の不調以上に「孤独」であり、それが心身を蝕む原因になると指摘します。

若宮氏自身は、母親が亡くなり一人暮らしになっても、孤独を感じることはなかったと言います。その背景には、以前から始めていたパソコンの存在がありました。



母親の介護に専念する生活が始まる

インターネットが
「孤独」を救った
若宮氏の歩み

58歳の時、社会との繋がりを求めパソコンを購入
インターネットで多くの仲間と出会い、世界が広がる

母親が亡くなり一人暮らしになっても、
枕元のパソコンの先にいる仲間が心の支えになった

この自身の体験から、若宮氏は「高齢者こそインターネットで友達を作りましょう」と強く呼びかけています。

デンマークに学ぶ「自立を尊ぶ」福祉のあり方

講演では、世界競争力ランキング1位を誇るデンマークの事例が紹介されました。デンマークでは、高齢者福祉において「自立を尊ぶ」という考え方が社会の根幹にあると言います。これからの日本も、高齢者の自立を社会全体で支える環境づくりが重要だと若宮氏は語りました。

デンマークの高齢者福祉を支える3つの原則

① 生活の継続性に関する原則

住み慣れた家や町で暮らし続けられるよう、社会がサポートします。

② 自己決定の原則

たとえ認知症であっても本人の意見を尊重します。自分で判断することが、認知症予防にも繋がるという考え方です。

③ 残存能力活用の原則

自分でできることは、時間がかかっても本人にやってもらいます。過度なケアは、かえって本人の能力を悪化させてしまう可能性があるため、自身の介護経験を省みていました。

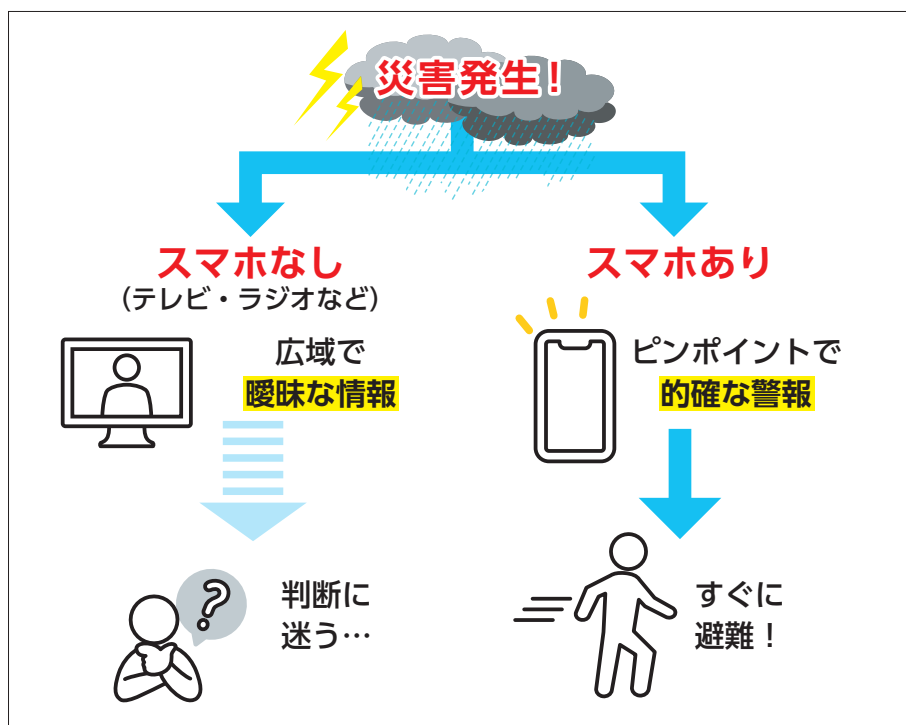
デンマークでは、ロボットなども活用し、あくまで本人の自立を「サポート」することに重点が置かれています。

スマートフォンは「命綱」。 いざという時のデジタル活用術

日本のデジタル化の遅れに警鐘を鳴らしつつ、若宮氏は「デジタルは、いざという時に命を守る」と強く訴えました。

特に、災害時におけるスマートフォンの有用性は計り知れないと指摘します。

そのためにも、日頃からスマートフォンの**位置情報を有効にしておくこと**が非常に重要です。講演では、「非常持ち出し袋」「スマートフォン」「マイナンバーカード」をワンセットで準備しておくことが推奨されました。



支援者の皆様へ

若宮氏は、民生委員など支援する立場の方々にもメッセージを送りました。高齢者の方々には、操作手順だけでなく「スマートフォンで何ができるか、どんな時に役に立つか」を具体的に伝えてあげてほしい、と語ります。スマートフォンは、友達であり、秘書であり、命綱にもなる「万能な小箱」なのです。

AI時代に求められる「人間力」と生涯学習のすすめ

講演の最後は、これからのAI時代を生きるための心構えについて語られました。AIが非常に賢く、優しいパートナーになる一方で、人間にこそ求められるのが「人間力」、すなわち「自立した一人の人間として力強く生きていくための総合的な力」です。

若者が持つ「新しい知識」と、私たち大人が経験から得た**「知的資産」**。この2つを自分の中で消化し、発酵・熟成させることで生まれる**「叡智」**や**「智慧」**こそが、AIと共存するためのキーワードだと若宮氏は結論づけました。

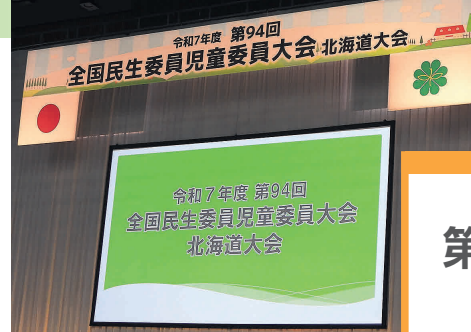
「90歳になって、自分が未熟だと気づきました。これからも学び、少しでも成長していきたい」。若宮氏の生涯学び続ける姿勢に、会場は大きな拍手に包まれました。



記念講演の資料は
こちらから

第94回

全国民生委員児童委員大会
(北海道大会)



『こんな夜更けに バナナかよ』 著者



渡辺一史氏
記念講演



渡辺一史氏の記念講演は、障がい者の権利について改めて考える貴重な機会となりました。障がい者の存在価値を生産性で測るのではなく、互いに尊重し合い共に生きる社会の在り方を問い直す内容であり、私たちの活動に大きな示唆を与えるものとなりました。

俳優・大泉洋さん主演で映画化もされたベストセラー。本作は、著者の渡辺一史氏が、筋ジストロフィーを抱えながら自立生活を貫いた鹿野靖明さんの日常を、長年の取材を通して描き出した代表作です。ノンフィクション作品の最高峰である大宅壮一ノンフィクション賞を受賞し、大きな感動と話題を呼びました。



提供：北海道新聞社

『こんな夜更けに
バナナかよ』
とは？



ウポポイ 視察



ウポポイ（民族共生象徴空間）の展示や映像を通じ、アイヌ民族の歴史・文化、人権課題への理解を深めた。差別の歴史から人権尊重の意義と共生社会の重要性を改めて実感する貴重な機会となった。

火山科学館 視察



洞爺湖ビジターセンター火山科学館にて、有珠山噴火の映像や資料から災害の脅威と実相を学んだ。噴火の体感装置も通じ、自然災害への備えの重要性を実感し、防災意識を高める貴重な機会となった。



令和7年9月4日・5日の2日間にかけて、北海道札幌市において第94回全国民生委員児童委員大会(北海道大会)が開催されました。2日目のシンポジウム・活動交流会においては6つのテーマに分かれ、各地域での取り組みや意見が共有されました。

第94回全国民生委員児童委員大会（北海道大会） シンポジウム・活動交流集会一覧

シンポジウム

地域における孤独・孤立に寄り添うセーフティネットと民生委員・児童委員

【要点】 高齢化・単身化により「身寄りのない高齢者」が急増。孤立死や認知症増加に対応するには、早期発見と多機関連携の見守り体制が不可欠。

【事例】

- ・札幌市厚別区＝棟長訪問やLINEで孤立防止
- ・豊田市＝地域共生の行政部署
- ・菊川市社協＝支え合いネットワーク
- ・NPOぷらっとほーむ＝権利擁護活動



活動交流会 1

高齢者・障がい者が安心して暮らし続ける地域づくり（地域包括支援）

【要点】 高齢化や障がい者支援には包括的・協働的な地域支援が求められる。

【事例】

- ・茅ヶ崎市＝独居高齢者見守りネット
- ・大和町＝知的障がい者と家族の交流活動
- ・札幌市南区藤野＝警察との同行訪問

活動交流会 2

子育て、子育てを応援する地域づくり

【要点】 不登校やいじめ、家庭孤立の増加が課題。児童委員と主任児童委員の連携や学校・家庭センターとの協働が急務。

【事例】

- ・青森市＝子育てサロンで孤立防止
- ・南砺市＝三世代交流や行政との四者協議
- ・旭川市＝小学生作文コンクールで委員の役割発信



活動交流会 3

生活困窮者への支援と地域共生社会の実現

【要点】 「支え手／受け手」の固定化を超え、誰もが役割を持つ共生社会をめざす。生活困窮者への包括的支援が不可欠。

【事例】

- ・雫石町＝情報交換会で要支援者の状況共有
- ・高松市香西地区＝カフェ型居場所で困窮者の社会参加促進
- ・登別市＝応急生活支援事業を民児協で展開

活動交流会 4

民生委員・児童委員活動の推進および民児協機能強化に向けて

【要点】 就労しながら活動する委員が増加。長期継続には環境整備や運営工夫、支援体制の構築が重要。

【事例】

- ・大分市＝退任者を新任委員サポーターに活用
- ・札幌市南円山地区＝LINEで情報共有を効率化
- ・酒田市＝ICTで会議・研修をオンライン化

活動交流会 5

次なる災害に備える民生委員・児童委員および民児協組織としての取り組み

【要点】 災害対応は平常時からの準備が鍵。要支援者名簿の整備や役割分担の明確化が重要。

【事例】

- ・富岡町＝震災・原発避難の教訓をもとに災害公営住宅で支援継続
- ・川崎市麻生区＝合同災害委員会で地域防災を推進
- ・旭川市末広東地区＝災害福祉マップ作成と学習会で防災意識強化

全国児童委員・主任児童委員 活動研修会

参加報告

令和7年度 全国児童委員・主任児童委員

活動研修会に参加して

令和7年8月8日(木)から9日(金)の2日間にわたり、東京都千代田区の灘尾ホールにて全国児童委員・主任児童委員活動研修会が開催されました。本県からも、児童委員として白岡市民児協の矢島静江会長と、主任児童委員として川口市民児協の岡田真理子委員が参加し、こどもたちを取り巻く現状や今後の支援について学びを深めました。

研修会報告

1日目



初日は、こども家庭庁による行政説明「こども施策の動向と児童委員、主任児童委員への期待」から始まりました。説明では、国の「こどもの未来戦略『加速化プラン』」の要点などが示され、こども施策が予防的な支援と地域連携を軸に進められて

いること、そして私たち委員への期待の高さが語られました。続いて、聖隷クリストファー大学の泉谷朋子准教授による「主任児童委員制度創設30周年を経た主任児童委員のさらなる活動推進に向けて」と題した講義が行われました。制度の節目にあたり、今後の活動の重点や、児童委員・主任児童委員を支える取り組みについて改めて学ぶ機会となりました。

2日目



午後のパネルディスカッションでは、「地域における子どもが安心できる居場所づくりとは」をテーマに、大学教授や現場で活動する民生委員協議会会長、主任児童委員が登壇しました。各地域での学校・教育現場との連携や効果的な支援、居場所づくりの現状と課題について活発な意見が交わされ、地域ぐるみでの支援体制の構築と、その中で委員が果たす役割の重要性への理解を深めました。夜には交流会も開催され、他地域の委員と課題を共有する貴重な時間となりました。

科会に臨みました。それぞれの分科会では、教育機関をはじめとする関係機関との連携の現状や課題、各地の特色ある実践例などを共有しました。参加者からは、こども食堂や学習支援がこどもの安心できる「居場所」として機能している事例や、支援が届きにくい家庭に対し、相手の尊厳を守りながら自然な交流を重ねて信頼を築く工夫などが紹介されました。これらの共有事項をもとに、課題解決に向けた具体的な取り組みについて、参加者同士で熱心な討議が行われました。

この2日間の研修を通じて、全国の仲間と共に学び、語り合う中で、私たち一人ひとりの活動が地域のこどもたちの未来を支える大きな力になることを改めて実感しました。

白岡市民児協
会長
矢島 静江

学んだこと

国のこども施策として、問題が深刻化する前の「予防的支援」と「地域連携」を軸に進められていることを確認しました。特に、学校等の教育現場と日頃から情報を共有しておくことが、こどもの変化を早期に捉える上で非常に重要であると強調されていました。また、支援が届きにくいご家庭には、相手の尊厳を守るさりげない接触が有効であり、日常の自然な交流が信頼構築に繋がるという具体的な工夫も学ぶことが

できました。日常的な見守りの積み重ねが、こどもの安心に繋がることを実感しました。

伝えたいこと

児童委員の活動は、地域の「目」となり「つなぎ役」として、日常の小さな気づきを大切にするのが基盤であると改めて実感しました。課題を一人で抱え込まず、学校や自治体、地域の様々な団体と連携して「チームで支える」という視点が不可欠です。今後は、研修で学んだ事例を参考に、若い世代や保護者にも届くようSNSを活用するなど、より柔軟な情報発信も必要だと感じています。無理なく続けられる支援を地域全体で広げ、こどもたちが安心して暮らせるよう、その役割を丁寧を果たしていきたいと思っています。

研修に参加して
～学びと今後の活動への思い～



矢島会長(右)と岡田委員(左)

学んだこと

昨年度、主任児童委員制度が30周年を迎えたことを機に、改めて児童委員・主任児童委員の果たす役割、活動、連携が地域においていかに重要であるかを再認識しました。多様な人々が関わり合いながら、世代を超えた交流の場を作ることが、一人ひとりの暮らしと生きがいを高める地域づくりに必要であると学びました。グループ討議では、各地域の教育機関との連携における現状や課題を共有し、今後の活動の参考となる具体的な活動事例を知ることができ、大変有意義な機会となりました。

伝えたいこと

今後、こども・子育て家庭を取り巻く環境

が複雑化する中で、児童委員と主任児童委員が連携・協力していくケースはますます多くなると思っています。課題を抱える親子を早期に見出し、つなぎ、支えると共に、一方的な支援にならないよう、こどもや若者、子育て世帯の声を聴き、私たちが代弁者となることも大切です。私たちの活動は、やりがいと共に心身の負担を感じることもあるかもしれませんが、決して無理をせず、ご自身の心が休まる居場所も大切にしながら、活動を続けていきたいと思います。

川口市
主任児童委員
岡田 真理子

ご存知
ですか？

社会福祉協議会 (社協)

第2弾

実態から学ぶ
連携の形

市民児協 & 市社協 顔の見える関係が、地域を支える力に

「顔の見える関係づくり」を大切にしたい。

吉川市では、市民生委員・児童委員協議会（民児協）と市社会福祉協議会（社協）が、その答えを日々の実践で形にしています。特別な事業体制を作っているわけではありません。しかし、一つひとつの対話の「密度」と、互いに寄り添える「関係性」が、地域を支える大きな力につながっています。



吉川市社協

■日常の関わりから育くむ信頼関係

地域包括支援センターが毎回の定例会に参加している姿にヒントを得て、社協も毎月の地区定例会へ地区担当者が参加することを始めました。会議で受けた質問には必ず回答。どんな小さな相談にも「必ずお返事をする」という姿勢を大切にしてきました。その積み重ねが、民生委員の「困ったときには社協に相談しよう」という信頼につながっています。



「困ったときには社協に相談」 が出来る関係を目指して

一方で、社協からは「頼み事のときだけ顔を出す関係では、目的や想いが伝わりにくく、事業も実りません」との声もありました。顔を合わせる機会を重ね、雑談も交え、共通の視点に立ち、共に汗を流す姿勢こそが、現在の信頼関係を築いています。

ポイント

市域すべての地区から代表が社協の理事や評議員に加わることで、地域の声そのまま社協の事業に反映されているのも吉川市ならではの特徴といえるでしょう。

■声を出せない人の声を聞き取る

「私たちは“声を出せない人の声”を聞き取る役割を持っています。だからこそ、民生委員さんとの連携は欠かせません。」

ある社協職員の言葉です。地域に密接に関わる民生委員と、声を繋いだり仕組みとして形にする社協。互いの強みを補完し合う関係が、吉川市ならではの支え合いを形づくっています。



吉川市民児協

「ワンチーム吉川」の強み

■「ワンチーム吉川」の土台は “楽しむ”こと

吉川市民児協には「まずは委員活動を楽しむこと、議論は雑談の延長で良い」という方針があります。この「楽しむ」雰囲気づくりが、委員の積極的な発言を促し、定例会を活性化させています。



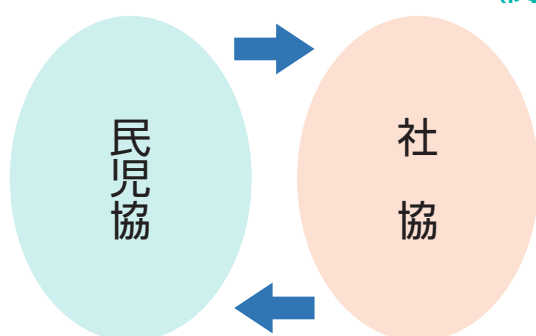
「楽しむことから始まる地域福祉」

さらに、社協の職員も同席し、地域性の近い地区同士でのグループミーティングなどの工夫により、民児協は関係機関との連携を深め、**地域全体がまとまった『ワンチーム吉川』として動く土台**を築いているのです。

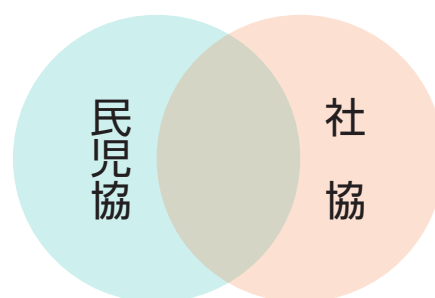
■相互理解が生む力

吉川市の強みは、制度の仕組みに支えられつつも、日常的なやりとりの中で相互理解が深まっている点にあります。会議で意見を伝えやすい雰囲気、何でも相談できる関係性——。こうした**「理解し合える土壌」**があるからこそ、地域福祉計画も“自分事”として推進できるのです。

(関係性の図解)



一般的な連携（双方向型）



吉川市の連携（一体型）



©yoshikawa

取材を終えて

社協職員が定例会に参加している地区は少ないと思います。理解しあい、助け合える関係を構築できるよう、**事務連絡や依頼以外でも交流する機会**を作ることが、地域福祉の向上において重要だということを改めて実感しました。



©yoshikawa

使いみち!!

～心つなぐ。笑顔つくる。
共同募金～

さんをはじめ、多くのボランティアに支えられ10月1日から各地域で行われています。
金の使いみちについて、助成先からのありがたいメッセージとともにご紹介します。

- 1 皆さんがご存知のように、地域には様々な人が自宅や福祉施設で生活されています。
共同募金は、高齢者や障がい者・子育て世帯への支援など多様な分野の福祉活動や、
地域における様々な社会課題に対する事業費・備品の購入費用として使われています。

高齢者支援

社会福祉法人杏樹会
杏花里デイサービスセンター（入間市）

この度は特殊浴槽の入れ替えに際して皆様ひとりひとりの寄付を活用させて頂くことができ、ようやく特殊浴槽の入れ替えを実施することができました。なかには何年かぶりに湯船に浸かることができ涙を流されるご利用者もいらっしゃいました。職員、ご利用者ともども感謝しております。ありがとうございました。



障がい者支援

公益社団法人
埼玉県視覚障害者福祉協会（熊谷市）

当団体は視覚障害者団体です。当事者が埼玉県内の小学校へ出向き、小学生に視覚障害者の生活の現状を知ってもらい、今後の生活に活かしていただきたいという思いから福祉授業を行っています。

小学生に実際にアイマスクをつけて白杖を持って歩いてもらったり、盲導犬と触れ合ってもらったり、点字の勉強をするなど、いろいろなことを行っております。小学生の皆さんも興味を持って参加していただいているようです。

今年度もたくさんの小学校へ行くことが出来ました。ありがとうございました。



子育て支援

社会福祉法人育成舎
第二ハルム保育園（滑川町）

この度は赤い羽根共同募金の助成金を活用させていただき、本当にありがとうございました。各保育室のエアコンを更新したことで夏の暑さ・冬の寒さを緩和でき、園児たちが快適にお部屋で過ごすことができています。また職員も同じように快適に保育を行うことができ、業務の質の向上につながっています。

利用者（園児）からは「風がくる」「涼しいね」など、職員からは「快適に保育を行える」の声があり、また園児の中には赤い羽根のマークに視線を送り興味を示す子もいました。



共同募金の



令和7年度共同募金運動は、民生委員・児童委員の皆
本記事では、皆さんが毎年協力くださっている共同募

- 2 また、コロナ禍以降、希薄化した地域のつながりを再構築するため、「つながりをたやさない社会づくり」を重点助成事業として、こども食堂や各種サロン活動、住民同士の交流イベントに対して、積極的に助成をしています。

重点助成

こども食堂 こんぺいとう（さいたま市）



こども食堂に来られるお子さんは様々ですが、皆さんが帰る時にはお腹一杯満足の笑顔で帰られます。

ハロウィン、クリスマス、そして、学期末には、春休み応援企画として、ハンバーガーとポテトのセットをお配りしました。

これらは赤い羽根共同募金様からの沢山の助成をいただけたからこそ企画です。子どもたちも大喜びでした。

今後もこれを励みに精一杯たすけが必要なお子さん、ママ達のために頑張っていこうと思います。

大きな大きなご支援をありがとうございました。



- 3 その他、共同募金は、災害が発生した際、県内外に関わらず、被災者を支援するためのボランティア活動に役立てられています。

令和6年1月発生の能登半島地震では、甚大な被害があった石川県及び富山県内の災害ボランティアセンターの活動費を支援しました。



今回は、共同募金が県内外の様々な福祉活動に使われていることを紹介してきました。共同募金に対しては、福祉団体から年間で約9億円を超える助成金の要望が寄せられています。

この要望に応えるため、募金の趣旨や使いみちをPRし、募金額の増額を目指し、募金運動を展開してまいります。

今後ともご支援とご協力をお願いいたします。

にいざし 新座市 平林寺の紅葉

都会の喧騒から少しだけ足を延ばせば、そこには時がゆるやかに流れる武蔵野の森が広がっています。禅寺・平林寺の境内林では、11月下旬から、木々が絵筆で点を打つように色づき始めます。

ここは、ただ紅葉を「見る」だけの場所ではありません。凜とした空気の中、風が葉を揺らす音に耳を澄まし、掃き清められた参道に舞い落ちる一枚の葉に禅の心を感じる。そんな五感で味わう紅葉が待っています。木漏れ日が照らす落ち葉の小径を歩けば、日々の忙しさを忘れ、心静かな時間を過ごせるはずです。

この秋は、心に深く残る特別な紅葉と出会いに、平林寺を訪れてみませんか。

アクセス

JR武蔵野線「新座駅」南口より
西武バスで約10分、「平林寺」下車すぐ。

西武池袋線「ひばりヶ丘駅」
「東久留米駅」からも
バスの便があります。

平林寺公式ウェブサイト
(紅葉の情報)



新座市

民生委員・児童委員の声 原稿募集中

一般財団法人 埼玉県民生委員・
児童委員協議会 広報係宛

〒330-0075 さいたま市浦和区針ヶ谷4-2-65
彩の国すこやかプラザ

今後の予定

11月

11日	全国社会福祉大会	東京都台東区
17日	正副会長会議	すこやかプラザ
20日	埼玉県社会福祉大会	埼玉会館

12月

1日	一斉改選	
----	------	--

編集 後記

9月10日に「民児協だより」の取材に吉川市を訪問させていただきまし
た。社会福祉協議会職員4名の取材で
は、プラス思考とチームワークのよさ
が記憶に残り、「組織は人なり」を実
感しました。吉川市民児協の取材で
は、社会福祉協議会と相互理解が進ん
でいることが分かりました。取材への
ご協力ありがとうございました。

一斉改選まで残り1ヶ月となり、現
在の広報部会員による最後の「民児協
だより」です。この3年
間、市町村民児協と埼玉
県民児協の動向を、少し
でも皆様に伝えることが
できましたら幸いです。

(志子田健一)

182号は県民児協広報部会 Cチームで編集、校正しました。

部会長 志子田 健一
副部会長 藤野 美佐子
副部会長 大島 幸雄

部会員 川上 和江
部会員 笠谷 芳子
部会員 黒澤 茂雄
部会員 大久保 佐知子